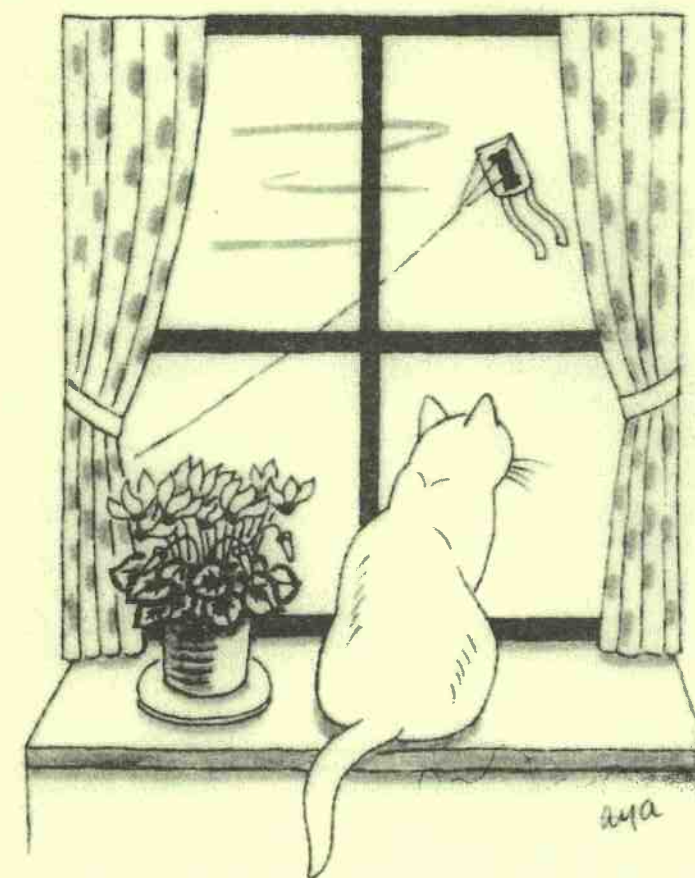


ふれあい雪谷

平成19年

新年号



(池の台 石井 綾子さんの作品)

美しい環境づくり 22

このテーマは私にとって最高と思いました。というのは、丁度時を同じくして「小池釣堀の後をどのようにしたらよいか」という地域にとっても、良い課題が与えられました。

整備として色々な構想もあるでしょうが、一昔前に還るといふ思いでの提案をします。地域に根ざした水辺の環境を一部埋め立てて、米づくり(田んぼ)が出来また、畑、草花、野菜等をつくる場所として、地域の自治会・学校の生徒等が利用活用できる所にしてほしいと希望します。

人という文字をよく見て下さい。「ささえ合う」という意味もあるのです。地域にとっても核家族の家庭も少なからずあります。子育ては、家庭はもちろん地域社会で育てるといふ暗黙の了解のもとでした。知識ばかり高学歴でも精神面が遅れ、幼いままではこれからの日本を背負う若人に対して不安でなりません。日本人として生まれて来たからには昔からの良い知恵や文化を残してあげたい。次の世代に引き継いでほしいと願っています。その一環として、米づくりや野菜づくりは、汗水を流して、人の口に入るものであることを小さい子どもの時から知ることが大切です。智育・徳育・体育と協調協力し合い、お互いにあいさつできる感謝の心が芽ばえ、いたわりあえる仲間意識も次第に身につくのではないのでしょうか。

今の時代、あまりにも殺伐としていて悲しい寂しい出来事が多すぎます。皆さん少子化などと言わず思わず前に向き、土のある生活を取り戻しましょう！これも幼児から高齢者までの情操教育の一環だと思いますが、いかがでしょうか。

(小池 高橋)



私の健康法26

自然のままに

無理をせず、自然のまま自分らしくあらゆるものに興味を持ち温かな家族に守られて、降圧剤のお世話にはなっておりますが、いつの間にか八十四歳になりました。これという健康法など持っておりませんが、おかげ様で元気に暮らしております。

食事は好き嫌いなくお肉もよく頂いております。歴史と旅行が大好きで、機会があればすぐ出掛けます。

よいお友達に恵まれ、絵手紙、カラオケと毎日を楽しく過ごしております。

二階に住む共稼ぎの娘夫婦とその娘のため、月曜から金曜までの夕食の支度をしております。土曜



日曜は二階で御馳走になります。いつまで続くかわかりませんが、その二十二歳の孫娘と今年旭山動物園、そしてソウルの旅行を致しました。そこで知りましたのは人のやさしさでした。皆様のお心づかいがどんなに嬉しかったかわかりません。

人様にやさしく笑顔を忘れない人でありたいと思えました。私は幸せ者です。

このようなおだやかな生活が出来ますことこそ、健康法なのではないでしょうか。感謝しております。

(南雪谷 森宮 君子)

サークル紹介 34 健康体操 安健美会



私は運動嫌いですが、介護支援専門員としてその重要性を日々感じてはいました。そんな時に出会ったのがスウェーデンで行われていた高齢者向け体操を基に考案された「自立生活体操」です。

いくら運動が嫌いでもこれならできるのではないかと思ひ、早速習いに行きました。

この体操は音楽に合わせて、柔軟体操・筋力運動・有酸素運動・日常生活動作訓練を一時間で終わるよう組み合わせたものです。

講習を終了し、この運動をもっと地域に広めようと、その時に出会った仲間と活動を始めました。まだ一年程ですが、六〇、八〇代の方々と一緒に運動しています。これから必ずやってくる老いに備えて、無理なく楽しく、運動しませんか。お待ちしております。

日時 毎週火曜日午前10時30分

場所 生活クラブ大田センター

会費 月2,500円

代表・斎藤 千晴(三七五八三二六三、東雪)



(石川台 滋谷 武次)

【編集後記】

新年おめでとうございます。各自治会の皆様方各委員の方々に支えられ、新年号を発行することができました。これからも地域の皆様方のご協力を得て、本年も編集委員一同頑張つて参ります。

なお一層のご協力をお願い申し上げます。

〔発行〕わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三二二三

十二月一日から、ふれあい雪谷の編集委員が替わりました。

石川台自治会

(新)大槻 生

(旧)滋谷 武次

ホームページ

http://koho/nishi/nishi_news/yukigaya/index.html

雪谷地区自治会連合会と地域活動

私が連合会長をお引き受けしてから、早いもので4年が過ぎようとしています。また、笹丸自治会長として地域に関わってきましたので、自治会、自治会連合会というものの役割について考えてみたいと思います。

(1) 自治会連合会の歴史

雪谷地区には9自治会があり、その連合体が自治会連合会です。戦後の昭和22年町会・隣組の制度がGHQにより廃止されましたが、生活物資の配給事務などを引き継ぐため、町会の事務所は地域連絡所と名称を変えて存続しました。その後18の地域に整理統合され、出張所となって今の基礎ができました。その18地区に、それぞれ自治会連合会という組織があります。

(2) 地域活動の担い手

一口に地域活動といっても、様々な形があります。以前、洗足池駅の北側に放置自転車が乱雑に山積みされており、通行に支障をきたしていたことを覚えている方も多いかと思います。あの場所は東急の私有地であったため、区としても手を出せなかった場所でした。そこで自治会連合会として区と東急電鉄に対処を要請しました。まちなみ整備課と東急の対応はすばやく、一気にきれいになりました。昨年10月には駅南側に165台の駐輪場がオープンいたしました。これは一人の力は小さくても、自治会更に自治会連合会となったとき、各方面にも働きかけることができた例かと思えます。

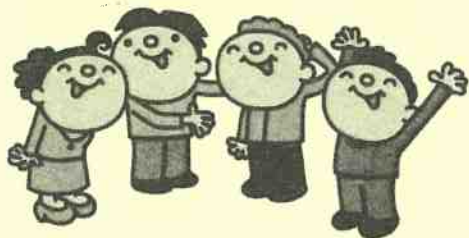
(3) 雪谷特別出張所の改築

雪谷地区の人口は、5万5千人を超え、地方であればひとつの市を構成するほどの人口規模です。しかし9自治会の有志懇親会も、遠く嶺町集会所まで行かねばなりません。「多くの住民が集い、地域活動、文化活動などができる地域コミュニティの拠点施設を是非に」との声が盛り上がり、これを受けて署名運動(約1万3千人)を含む陳情を続けた結果、歴代連合会長3代6年目で念願の改築が正式にきまり、3階部分に120人規模の集会所が組み込まれることになりました。平成20年2月には晴れて新出張所集会所で有志懇親会が行われることになります。

このように様々な分野で地域活動の大きな担い手として9自治会が一致協力して連合会を支え、雪谷地区を更によりよくするためこれからも活動を続けてまいります。

区のご理解ご協力に感謝するとともに、有効に活用されるよう皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(笹丸 直井 福久男)



12歳

私は今年の4月に中学生になります。中学に入ったら勉強など難しくなると思うけど、部活にも入って勉強と両方ががんばりたいです。部活は、今クラブでやっているトランペットをひき続きやりたいと思います。

(東雪 池澤 里紗)



36歳

今年36歳の節目を迎えた。会社でも中堅といわれるようになった。次の節目を迎えるこの12年が正念場である。しっかりと実力をつけ、人間性が豊かになるよう努力したい。

(希望ヶ丘 K. Y)

60歳



気が付いてみると、5回目の年女、すなわち60歳です。38年間(うち、子育て5年間専業主婦)の会社勤めを59歳で終止符。家族皆の健康に支えられて勤め上げられました。感謝です!これからは健康に注意して、スポーツジム・パソコンなど、楽しみがいっぱいです!!

(南雪谷 後藤 清子)



72歳

小学校から高校まで、甲子園を夢みた野球少年でした。高校入学後、野球部に入り、先輩からの教育も加わり、それは想像を絶するほど、毎日の練習が厳しく、結果脱落していく生徒もいました。今思うと野球部生活が精神的にも肉体的にも成長し、社会に出て、仕事や人間関係にも大いに生かされ、役立ったと思っています。青少年達に、若いうちに厳しい修練に耐えて、竹の子が成長する如く、真っ直ぐに伸びてくれるように様に伝えたい。

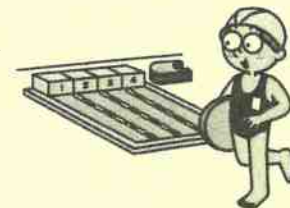
(小池 倉内)

6回目の年女を迎えた今、過ぎた日を振り返ると小さなドラマが色々あり、困難なことも、楽しい思い出となっております。空元気はありますが、まあ健康の部に入るでしょう。朝夕の犬の散歩、膝と腰を中心にストレッチ、週1回の水泳、下手ながら5、600メートル泳ぎを楽しんでいる。

息子と娘の子ども、8、7、6歳3人が泳ぎを習い始めたらいい。25メートル泳げるようになったら一緒に泳ぐのが楽しみです。「まだ2、3年は負けないゾ」

さあ、今年も頑張ろう。

(池の台 S. Y)



この情報紙は古紙100%の用紙を使用しています。

新成人

20年を振り返って

私は、20年を振り返ってみて、考えたことは、たくさんの人たちに出会ったことです。

今、自分の周りにいる人たちは、前世で50回以上ぶつかったり、すれちがったりした人たちだそうです。それを聞いて人との出会いにはいつも運命を感じます。ひとつ学校が違っただけでその人には出会っていなかったり、その逆でまた違う人に出会っていたのかも知れません。そんな中、私は友達や周りの環境に恵まれていると思います。色々な場所で仲よくなった友達がいます。同じ学校に通ってなくても連絡を取らなくなってしまう人もいますが、私は多くの友達と今でも連絡を取って集まることができます。時間があいてしまっても昔のように楽しく過ごせることが幸せです。

今年、成人式を迎えます。20年という月日はあっという間で未だ

に成人式を迎える実感がありません。でも今年から社会人として会社で働くので学生の時とは違い、責任感を持って行動していきたいです。また、新たな環境で一からスタートをするための不安もありますが、新しい人たちとの出会いを楽しみにしています。そしてこれからも今の仲間たちを大切にして、いつまでも付き合っていきたいと思います。

(上池上 田中 里奈)



今、自分が思うこと

20歳を過ぎてから実感していることだったが、社会的責任が目に見えない形ではあるが増えた。今はまだ学生なので、完全に社会に出たわけではないが、行なって良い事、悪い事がそれぞれ自分の中で考えているものが増えた。更に、現在アルバイトをしているが、こういった社会に触れることで、自分が生徒であった頃の大人に守られているという立場ではなく、いつでも自分で責任を負わなければいけない、守ってくれる人たちがいないということを感じる。

過去にこんなことを思った。「こんな大人になりたくない。」今もそう思う場面がある。よくテレビでも見るが、他人のことを気遣うことが出来ない大人が増えていると思う。今、大人の一員になって、周囲の様子を見ることができ、自分勝手な行動を慎むことができるようになりたいと思う。また、そのようになれるように努力したいと思う。

幸いまだ学生という身なので、そこまで重くは考えてはいない。今、最も力を入れていることは、卒業した後役に立つ、本当に社会に出た時に役に立つスキルを身につけることだ。何も無いまま社会に出たくはないし、自分の夢のためにも今のうちにスキルを付けておく必要がある。

社会に完全に出る前に、少し社会が見え始めた今、何か大人にあるべき態度を身に付けていきたいと思う。つまらない人生を送らないために。

(東雪 伊藤 孝博)